

NEWS LETTER

Vol.9 開催日2019.10.24

発行：基幹型包括支援センター
NPOまち育てセンターりた、岡崎市長寿課
20の地域包括支援センター

～地域包括ケアと地域共生社会の実現に向けた学びを共有するゼミ～
昨年度のモデルだった協議体構築の経過報告をご紹介します。

六ツ美 4 学区のまるごと交流会 (R1はリハビリ職と交流会) by 南部包括、むつみ包括 (六ツ美圏域)

【目的&ねらい】地域住民とリハビリ職が共に介護予防について考える機会となり、形となることを期待。他の地域の取り組みを知り、自学区の取り組みのきっかけとなること

【地域特性】

- ・六ツ美北部：学区福祉委員の人数、組織が大きく、各部ごとの取り組みができています。高齢化率が低い。
- ・六ツ美西部：比較的新しい学区で高齢化率も低い。
- ・六ツ美中部：高齢化率が高く、民生委員と福祉委員の問題意識が高い。町ごとにサロンを実施。
- ・六ツ美南部：まちづくり協議会有り、防災について話し合いを実施。多世代交流に力を入れている。

【キーパーソン】総代、学区福祉委員、民生委員、老人クラブ

【活動報告】

昨年度から六ツ美 4 学区の交流会を開催。R 1 年は地域のリハビリ専門職からの打診があり、地域住民とリハビリ職が共に介護予防について考える機会とする会を企画。11月19日に開催。
自学区、他学区の介護予防の取り組みを知り、地域住民とリハビリ職との交流を通じて、自学区の介護予防活動のきっかけとしたい。

【助言】進捗状況 (いつ、どこで、誰と、どのようなことをしたか) を見える化したことは他の業務にも生かせる。



【日時】 ▶▶▶ 2019年11月19日 (火) 13:30～15:30

【会場】 ▶▶▶ 悠紀の里多目的ホール
(岡崎市中島町上丸ノ内7番地4)

【趣旨】 ▶▶▶
①岡崎市の介護予防に関する動向を知る。
②自学区の介護予防活動について知る。
③他学区の介護予防活動について知る。
④交流会を通じて意見交換を行い、今後の自学区の取り組みの参考にする。

【内容】 ▶▶▶
●岡崎市の介護予防活動の今後について(岡崎市役所長 青木 金子様)
●六ツ美4学区の介護予防活動報告会
●ミニ講演「地域の介護予防活動におけるリハビリ職の関わりについて」
(岡崎公立病院理学療法士 尾山様)
●交流会
●振り返り
●総括 (NPO法人岡崎まち育てセンターりた 三矢様)
●フリータイム(自由参加)

グループワーク導入をスムーズにするために、活動報告の後にリハビリ職の講話を実施することは斬新。

地区分析シートの活用について

by 長寿課 地域包括ケア係

今回のキモ！

下(長寿課作成 R1.10.25時点)

学区名	支所圏域	担当包括	人口 総数	2015年 人口	2015年 人口比	年少 人口	生産 人口
梅園	本庁	中央	13,290	14,142	▲6.02	1827	790
根石	本庁	岡崎東	13,711	13,753	▲0.31	1773	855
男川	大平	岡崎東	10,605	10,224	3.73	1619	663
美合	大平	高年者	6,533	6,617	▲1.27	797	405
羽根	岡崎	スクエア	12,565	12,209	2.92	1800	790
岡崎	岡崎	なのはな	10,926	10,085	8.34	1944	709
六名	本庁	さくらの里	14,484	13,326	8.69	2377	925
三島	本庁	電美	9,698	9,512	1.96	1200	614
速尺	本庁	社協	9,928	9,389	5.74	1227	607
広幡	本庁	ひな	11,446	11,245	1.79	1501	739
井田	本庁	ひな	18,441	17,026	8.31	3117	1141
鑿岩	本庁	社協	4,218	4,171	1.13	512	243
福岡	岡崎	なのはな	10,446	10,076	3.67	1623	642
合計			130,000	128,000	2.33	1700	700

一覧化することで課の垣根を越えて、地域の情報を共有するツールとなる。今後の発展を期待。

【活動報告】

支所長からの要望で各学区の現状の見える化のため一覧表を作成。

【内容】

- ・2015年の高齢者数
- ・2025年、2040年の高齢者数将来推計
- ・ごまんどく体操 (週1回の通いの場)
- ・認知症カフェ、子ども食堂、買い物支援、協議体、その他トピックス
- ・人口、年少人口、生産年齢人口、高齢化率
- ・介護認定者総計、高齢者における介護認定者割合
- ・要支援1～要介護5の人数

【解説】

高齢化率と認定者割合は必ずしも比例しないことや地域特性との関係など表にすることで見えてくるがあった。今後、必要な数値やトピックスを追加し、各分野での活用の発展が期待される。

◆編集後記◆リハビリの専門職や医療の分野の方が病院を出て、地域との関わりを持ちたい、一緒に地域のことを考えていきたいという話を聞くことが多くなり、うれしくなります。包括はその橋渡しや一緒に取り組んでいけたらと思っています。また、まだまだではありますが、少しずつ、少しずつ、いろいろな分野の人の横のつながりが増えてきているのではないかと感じます。行政も包括も地域もどんどん繋がって、さらに住みたい岡崎の街になることが期待されます。